

INTERVIEW #02

京都府視覚障害者協会

なかじま けんじ

中島 健治 さん

定年まであと数年という時期に徐々に目が見えなくなり、早期退職。社会復帰を支援するための施設へ通い、現在は様々な団体に所属して啓発活動に取り組んでおられます。



視覚障害者を取りまく社会について
障害のある方からのメッセージ

障害があっても安心して暮らせる
バリアフリー社会の実現、全ての人たちが
社会参加していけるようになるには？について
考えてみませんか？

Q：視覚障害とは？

視力や視野に障害があり、生活に支障を来している状態を視覚障害といいます。『物体が全く確認できない全盲』と『おぼろげながら人の顔や物がわかる弱視』に分けられます。先天か後天かでも抱える課題に違いがあり、前者は小さい頃から盲学校での教育を受けていますが、後者は見えない世界に慣れていない事が多く、不幸な事故も多いと思います。私も何度か駅のホームから転落した経験があります。

Q：地域の方に伝えたい事

街で困っている方に出会ったら『なにかお手伝いしましょうか？』と声をかけてください。子どもであっても大人であっても、あなたのちょっとした勇気が困っている方の安心と安全につながります。



Q：朗読ボランティアに対する思いを聞かせてください

自分で得られる情報には偏りや限界があるため、ボランティアの方に支えてもらっています。発信される情報を楽しみにしている人がたくさんいるので、IT化がすすんでも人の声を持つあたたかみを大切にこの活動を続けてほしいです。



日時
◎毎月第3火曜 10時30分～12時
◎毎月第3金曜 13時30分～15時
場所：京都市南老人福祉センター



初期認知症の方やそのご家族を対象にしていたおれんじサロンは、認知症だけでなく障害や精神疾患があってもお互いを理解し、集えるコミュニティサロンとしてリニューアルしています。ゆったりお話をしたり園芸活動や体操をして過ごしてもらえる居場所です。

発行元・お問合せ

(福)京都市南区社会福祉協議会

〒601-8321 京都市南区吉祥院西定成町32番地 京都市南老人福祉センター内
TEL. 075 671 1589 FAX. 075 671 3840 MAIL. main@m-syakyo-kyoto.jp
受付時間：9時～17時（土日祝・12月29日～1月3日を除く）
<https://www.m-syakyo-kyoto.jp>

ホームページは
こちらから

